

## 「課題解決型高度医療人材養成プログラム」における工程表

申請担当大学名	北海道大学
連携大学名	なし
事業名	病院経営アドミニストレーター育成拠点

### ① 本事業終了後の達成目標

本事業終了後の達成目標	
達成目標	本事業は、地域の実情に応じた経営戦略の企画・立案能力を兼ね備え、病院経営においてリーダーシップをとる人材の養成を目的とする。本学はこれまで輩出した医療系有資格者MBAや、大学、病院、企業や自治体といったネットワークを活用した教育プログラムおよびケーススタディを作成し、病院経営に関する理論と実践を体系的に教育する拠点として機能する。また、大学院科目「病院経営科目群」として新設し、将来的には本学事業として長期的に継続することにより、持続的に医療経営人材を養成する事業モデルの構築が目標である。

### ② 年度別のインプット・プロセス、アウトプット、アウトカム

		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
インプット ・ プロセス (投入、 入力、 活動、 行動)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>特任助教2名募集</li> <li>ケーススタディ作成(4編)</li> <li>平成30年度シラバス作成</li> <li>平成30年度履修プログラム作成および受講者募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学院科目として4科目始動</li> <li>ケーススタディの作成(10編)</li> <li>平成31年度履修プログラムの受講者募集(各科目20名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度大学院科目「病院経営科目群」を開設(12科目)</li> <li>平成32年度履修プログラムの受講者募集(各科目20名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成32年度大学院科目「病院経営科目群」を開講</li> <li>平成33年度履修プログラムの受講者募集(各科目20名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成33年度大学院科目「病院経営科目群」を開講</li> <li>平成34年度履修プログラムの受講者募集(各科目20名)</li> </ul>
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局の設置</li> <li>事業推進委員会、外部評価委員会の設置</li> <li>病院経営人材育成ニーズの調査(医療機関ヒアリング、アンケート調査)</li> <li>本事業ホームページ作成</li> <li>病院経営に関するシンポジウム開催</li> <li>シラバスに応じた講師決定</li> <li>e-learningシステム開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院経営人材育成ニーズの調査(医療機関ヒアリング、アンケート調査)</li> <li>病院経営人材育成を実践する教育機関へのヒアリング</li> <li>本事業ホームページの随時改訂</li> <li>平成31年度シラバスの見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業ホームページの随時改訂</li> <li>平成32年度シラバスの見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業ホームページの随時改訂</li> <li>平成33年度シラバスの見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業ホームページの随時改訂</li> <li>平成34年度シラバスの見直し</li> </ul>
アウトプット (結果、 出力)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院経営シンポジウム参加者数</li> <li>平成30年度シラバス作成</li> <li>特任助教2名採用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年次報告書公表</li> <li>履修者によるアンケート分析</li> <li>シラバス作成(計:12科目)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年次報告書公表</li> <li>シラバス修正</li> <li>前期、後期履修者によるアンケート分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年次報告書公表</li> <li>シラバス修正</li> <li>前期、後期履修者によるアンケート分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年次報告書公表</li> <li>シラバス修正</li> <li>前期、後期履修者によるアンケート分析</li> </ul>
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業推進委員会、ワーキンググループによる事業評価</li> <li>年次報告書公表</li> <li>学習教材の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業推進委員会、ワーキンググループによる事業評価</li> <li>年次報告書公表</li> <li>学習教材の整備</li> <li>医療機関ヒアリング、アンケートに基づくシラバス見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業推進委員会、ワーキンググループによる事業評価</li> <li>年次報告書公表</li> <li>学習教材の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業推進委員会、ワーキンググループによる事業評価</li> <li>年次報告書公表</li> <li>学習教材の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業推進委員会、ワーキンググループによる事業評価</li> <li>年次報告書公表</li> <li>学習教材の整備</li> </ul>

アウトカム (成果、 効果)	定量的 なもの	・シンポジウム参加者数	・受講者数(本学院生、社会人) ・セミナー参加者数	・受講者数(本学院生、社会人) ・セミナー参加者数 ・Diploma of Hospital Managementの 授与数	・受講者数(本学院生、社会人) ・セミナー参加者数 ・Diploma of Hospital Managementの 授与数	・受講者数(本学院生、社会人) ・セミナー参加者数 ・Diploma of Hospital Managementの 授与数
	定性的 なもの	・本事業についての広報活動(学内、 学外、一般市民) ・教育プログラム開始(H30年度)に 向けた準備の進捗	・本事業についての広報活動(学内、 学外、一般市民) ・教育プログラム開始(H31年度)に 向けた準備の進捗 ・履修者アンケートによるPDCA管理	・本事業についての広報活動(学内、 学外、一般市民) ・履修者アンケートによるPDCA管理	・本事業についての広報活動(学内、 学外、一般市民) ・履修者アンケートによるPDCA管理	・本事業についての広報活動(学内、 学外、一般市民) ・履修者アンケートによるPDCA管理

③ 推進委員会所見に対する対応方針

要望事項	内容	対応方針
①	事業の実施に当たっては、学長、病院長等のリーダーシップの下、責任体制を明確にした上で全学的な実施体制で行うこと。また、事業期間終了後も各大学において、長期的な展望に基づく具体的な事業継続の方針・考え方について検討し、自立化した事業体制を構築すること。	本学保健科学研究所が中心となり、医学研究科、公共政策大学院と連携し、運営体制を構築する。事業の自立性を担保する仕組みとして、科目等履修生(有料)の受入れを促進し、自己資金での運用を強化する。社会人が受講しやすい環境づくりのため、e-learningシステムを使用した遠隔講義や旭川医大での実地講義などの体制整備を進める。また、専任教員の採用や教育機関・医療機関との連携を強化しプログラムの充実を図り、事業期間終了後も本学の事業として継続することを目指す。
②	自己点検・評価や外部評価を実施し、事業の改善を行いつつ、全国の模範となる体系的な教育プログラムを展開すること。その際、受講しやすい環境整備に配慮するとともに、修了者のキャリアパス形成につながる体制を構築すること。	事業推進委員会の下部組織として実務担当者によるワーキンググループを構成し、教育プログラム、シラバス、教材等を受講者アンケート、ヒアリング等を基に毎年見直すなど、PDCAサイクルによりプログラムの継続的な改善活動を図る。履修者のキャリアパス形成支援のため、プログラム終了後も科目履修生として参加可能とするだけでなく、セミナー・シンポジウム開催、履修者による情報交換の機会提供、大学病院との交流機会の設定などの取組みを行う。
③	事業の実施状況や成果等を可能な限り可視化した上で、地域や社会に対して分かりやすく情報発信するとともに、構築した教育プログラムの他大学・大学病院への普及に努めること。	作成した事業ホームページへ活動報告の掲載、年次報告書の作成を行い可視化すると同時に、セミナーやシンポジウムで学会発表等を通して、本事業の取組を発信していく。

④ 推進委員会からの主なコメントに対する対応方針

推進委員会からの主なコメント(充実を要する点)	対応方針
病院経営支援という観点から、「管理会計」(予算管理、原価計算、損益分岐分析、事業計画など)の科目の充実を図ることが望ましい。	管理会計に関連する科目の充実のために、履修科目として「医療管理会計学」「医療財務会計学」による学習、「医療経営シミュレーション(戦略MG)」を組み込む計画である。これにより、事業計画に際した財務分析、原価計算や損益分岐点分析など財務データに基づいた分析についての教育を進める。
運営体制について、外部評価をより広い視点から取り入れるとともに、PDCA サイクルを活用して体制の充実を図ることが望ましい。	北海道病院協会等の有識者をメンバーに含む外部評価委員会を組織し、事業の内容や実施・継続可能性についての外部評価を受ける。予定通りの実施が困難な場合は、運営委員会やワーキンググループなどで協議を行った上で事業の見直しを行うなどPDCAサイクルに基づいた管理により体制の充実を図る。